



▲高く打ち上げられストローロケット

「わあ、すごい」「すっごく、とんだよ」牧っ子ランド（多目的教室）で1年生と2年生の児童39名は、自分でつくった実験工作に感動と喜びの声をあげていました。

2月24日（水）、岐阜県先端科学技術体験センター（サイエンスワールド）より奥村さんと林さん2名の方を講師にお迎えして出張実験講座を実施しました。

この講座は、サイエンスワールドが行っている事業の1つで、岐阜県発明協会との紹介と後援により、「青少年の理系や工科系等への興味の向上や、次代のものづくりの担い手育成等に寄与すること」をねらいとしています。

出張実験講座の小学校1〜3年生向けの8つのメニュー（2つで45分）から『バタバタトンボ』と『すっ飛びロケット』の2作品に挑戦しました。

『バタバタトンボ』『すっ飛びロケット』ものづくりの楽しさを実感

牧小学校 「出張実験講座」



▲初めての実験に興味津々

まず、『バタバタトンボ』がバタバタチョウをつくりました。絵の周りをハサミで丸く切り取ったり、羽に板磁石を貼り付けたりしました。それだけでも1年生には大変な作業ですが、頑張って仕上げました。

絵の裏側から細長い板磁石を動かすと、羽がブルブルふるえて動きました。

次に『すっ飛びロケット』を作りました。これは、スーパーボールの反発力を使ってストローで作ったロケットを高く打ち上げる作品です。簡単な作業でできるので、できあがった子から、早速実験を始めました。予想以上に高く上がるストローロケットに、子どもたちは驚きながらも、喜んで実験を何度も何度も繰り返していました。

今回の実験講座を通じて、子どもたちはものづくりの楽しさを実感し、興味や関心を高めることができました。



▲一斉にスタートを切る参加者の皆さん

安八町ふれあいウォーク & ジョギング大会開催

3月13日（日）、町体育振興会主催による第22回安八町ふれあいウォーク&ジョギング大会が開催されました。町総合運動公園野球場をメイン会場として、百梅園とキャッスルパークをチェックポイントとする全長3.3キロのコースで行われました。

少し春らしくなった陽気のなか小・中学生や家族連れの方など、約1000人が参加し、体力にあった距離を歩いたり、ジョギングしたりしていました。

各種大会のあしあと

◆ 東海選抜大会（フエンスィング団体）

◆ 第40回全国高等学校選抜大会

（フエンスィング）

高橋佳奈美

◆ 第2回東海高等学校剣道選抜大会

千葉 泰雅

堀田 蒼貴



◆ 平成27年（第17回）

東海小学生バレーボール新人大会

名森バレーボールスポーツ少年団

◆ 第22回東海高等学校

バレーボール選抜大会

堀迫 雅

◆ 第13回全国ホープス選抜選抜卓球大会

松尾 尚紀

◆ 第2回3×3日本選手権大会

木村 拓貴

